**環境工学研究論文集および環境工学研究フォーラム講演集の電子化と**

**査読付論文（A論文）の掲載料に関して**

これまで環境工学委員会では、環境工学研究フォーラム開催時に土木学会論文集 G（環境）（環境工学研究論文集）ならびに環境工学研究フォーラム講演集の冊子版を作成し、参加者の皆様にお配りしておりました。しかしながらこの度、**2022年度（第59回環境工学研究フォーラム）から論文集、講演集ともに電子ファイル版を標準とし、参加者の皆様にお配りすることといたしました。**これに伴う環境工学研究フォーラムへの参加費に変更はございません。なお、2022年度は電子ファイル版への移行措置として、論文集のみ冊子版も作成し、ご希望の方には別途有料で提供することといたしました。発表者および参加者の皆様におかれましては、ご理解いただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

これまで査読付論文（A論文）に関しては、論文掲載決定後に超過頁代とカラーページ代を著者の皆様にご負担いただいておりました。この度、**論文集の電子ファイル版への移行に伴い、超過頁代とカラーページ代を廃止し、掲載料を一律30,000円とさせていただくことといたしました。**当該掲載料は土木学会論文集への掲載料や他の特集号への掲載料と比較しても安価な料金設定となっております。また、これまでどおり土木学会会員・非会員を問わず論文投稿および発表を行うことができ、掲載料も会員・非会員で区別はございません。論文集の電子ファイル版においても、これまでどおり土木学会論文集 G（環境）への掲載論文としてページ番号が付き、その後J-Stage上に掲載されます。また、掲載決定後の論文の別刷をご希望の方はこれまでどおり別途有料で受け付けいたします。

（変更前）

* 論文ページ数は最大で12ページとし、5ページまでは無料。
* 5ページを超える場合には超過頁代として1ページにつき6,000円を徴収。
* カラーページは1ページにつき20,000円を徴収。

（変更後）

* 論文ページ数は最大で12ページ。
* ページ数とカラーページの有無にかかわらず、論文1編につき掲載料30,000円を徴収。